

# 淡水魚増殖試験 魚病対策事業

山根 恭道

県内の内水面養殖業における魚病被害を軽減するため、魚病検査・分離病原菌の薬剤感受性検査等を行なった。そして、その治療・対策方法並びに水産用医薬品の適正使用等について指導した。

## ◎ 魚病の検査方法

魚病検査は養殖漁業者等による持込み、及び現地調査により得た検体魚について、聞き取り、魚体外部・内部の肉眼観察及び検鏡観察と細菌分離について行なった。分離菌の薬剤感受性検査は魚病検査により分離された菌について、必要によりディスク法により実施した。

### 1. 防疫対策定期パトロール

表1に示すように各増養殖経営体を巡回し、飼育管理指導、魚病発生状況調査等を行なった。

表1 防疫対策定期パトロール

年 月 日	実施地域	内 容
6, 4, 1~4, 19	三刀屋町	アユ 飼育管理、魚病発生状況調査
5, 1 7	金城町・匹見町	ヤマメ "
6, 1 6	石見町・瑞穂町	ヤマメ "
7, 2 8	赤来町・邑智町	ヤマメ "
8, 3	金城町・石見町	ヤマメ "
8, 1 9	頓原町・吉田村	ヤマメ "
9, 2 8	柿木村・六日市町	ヤマメ "
10, 2 6	江津市	アユ "
11, 1 6	江津市	アユ "
12, 1 6	江津市	アユ "
7, 1, 20	江津市	アユ "
2, 1 6	三刀屋町	アユ "

## 2. 魚病発生時の緊急対策

表2に示す様に各増養殖経営体に発生した魚病の同定、対策指導を行なった。

表2 魚病発生時の緊急対策

年 月 日	実施地域	内 容			
6, 5, 24	大東町	ヤマメ	セツソウ病	抗菌剤投与	
6, 8	吉田村	ヤマメ	セツソウ病	抗菌剤投与	
6, 14	羽須美村	アユ	冷水病	注水量の改善	
6, 22	斐川町	キンギョ	カラムナリス病	食塩浴・抗菌剤投与	
6, 28	瑞穂町	ヤマメ	セツソウ病	抗菌剤投与	
7, 5	出雲市	キンギョ	カラムナリス病	食塩浴・抗菌剤投与	
7, 12	三刀屋町	コイ	白点病	食塩浴	
8, 25	吉田村	ヤマメ	チョウモドキ	トリクロルホン	
9, 5	大東町	コイ	白雲病	環境改善・抗菌剤投与効果なし	
11, 11	松江市	フナ	亜硝酸中毒		
7, 2, 24	大東町	ヤマメ	セツソウ病	抗菌剤投与	
2, 24	高津川	アユ	ガス病	環境改善	

## 3. 魚病発生防止対策

### ア. 養殖場の定期観測

表3に示す様に平成6年10～平成7年2月にアユ種苗生産施設の水質調査を行なったので、その結果を表4に示した。

表3 養殖場の定期観測

年 月 日	実施地域	内 容	
6, 10, 26	江の川漁協	水温, PH, SS, DO, 細菌検査	
11, 16	"		
7, 1, 20	"		
2, 24	斐伊川漁協		
2, 27	斐伊川漁協		

平成6年10月26日 (江川アユ種苗センター)

水槽NO	水温(℃)	PH	DO(ppm)	DO(%)	CL-(%)	普通	BTB
養成3	16.2	7.5	7.1	75	28.7	-	-
4	15.5	7.3	6.5	69	28.3	+	-
丸1	15.8	7.2	7.2	77	2.5	-	-
2	16.3	7.4	7.1	76	16.5	-	-
3	16.2	7.3	7.7	80	27.9	+	-
4	15.3	7.5	7.4	77	19.8	-	-
淡水	16.8	6.5	6.7	60	2.6	-	-

平成6年11月16日 (江川アユ種苗センター)

水槽NO	水温 (℃)	PH	DO (ppm)	DO (%)	CL-(%)	普通	BTB
養成3	15.2	7.7	8.8	95	23.1	-	-
4	15.3	7.9	7.5	88	21.6	-	-
丸1	15.8	7.1	9.8	97	4.5	+	-
2	14.9	7.6	8.2	93	12.3	-	-
3	14.5	7.8	7.6	90	25.1	-	-
4	14.9	7.2	8.4	93	15.8	-	-
淡水	15.8	6.5	6.7	65	2.6	-	-

平成7年1月20日 (江川アユ種苗センター)

水槽NO	水温 (℃)	PH	DO (ppm)	DO (%)	CL-(%)	普通	BTB
養成3	15.4	7.6	8.3	90	13.5	-	-
4	15.5	7.5	8.5	88	16.2	-	-
丸1	15.1	7.2	8.8	89	6.5	-	-
2	15.3	7.6	8.2	85	12.3	-	-
3	14.8	7.1	8.6	88	22.0	-	-
4	15.0	7.5	8.4	86	10.8	-	-
淡水	15.2	6.5	6.7	65	2.3	-	-

平成7年2月24日 (斐伊川漁協中間育成場)

水槽NO	水温 (℃)	PH	DO (ppm)	DO (%)	CL-(%)	普通	BTB
1	15.6	7.1	7.5	76	0		
2	15.8	7.2	8.1	81	0		
3	15.8	7.1	8.4	83	0		
4							
5	16.0	7.2	8.9	90	0		
6	16.0	7.1	8.8	89	0		

平成7年2月27日 (斐伊川漁協中間育成場)

水槽NO	水温 (℃)	PH	DO (ppm)	DO (%)	CL-(%)	普通	BTB
1	16.0	7.1	8.3	84	0		
2	16.1	7.1	8.5	86	0		
3	15.9	7.1	8.6	86	0		
4							
5	16.0	7.2	8.8	87	0		
6	16.0	7.1	8.5	86	0		

#### イ. 魚病情報の収集, 伝達

魚病発生時の緊急対策における病魚の収集とその検査結果等の伝達を行なった。その他病魚に対する一般的な相談や医薬品の使用に対する相談を行なった。

表5 魚病情報の収集, 伝達

	魚病情報の種類	件数	情報源と伝達先
収集	魚病相談(照会)	24	養殖漁業者
	(検査依頼)	11	”
伝達	魚病診断結果及び予防治療対策	11	”

#### 4. 医薬品適正使用対策

巡回指導時に医薬品の適正使用に関する知識を普及した。また、4月にはヤマメ、ニジマス養殖業者を対象に医薬品適正使用を含めた魚病講習会を行なった。

表6 医薬品適正使用対策

年月日	実施地域	対象者(人数)	実施内容
6, 4, 16	全 県	ヤマメ養殖業者 8	水産用医薬品の適正な使用方法について指導。
10, 14	羽須美村	ドジョウ養殖業者 5	